

令和3年2月市議会 教育厚生委員会資料

所管事項調査に関する資料

目次	ページ
1 感染症研究拠点整備に関する諸会議の開催状況等について……………	1～ 3
2 訴訟の現況について……………	4

市 民 健 康 部

令 和 3 年 2 月



1 感染症研究拠点整備に関する諸会議の開催状況等について

前回の所管事項調査以降に開催された会議等については、次のとおり。

(1) 長崎大学における感染症研究拠点整備に関する地域連絡協議会

ア 目的・委員構成等

設置者	長崎大学
設置日	平成28年4月1日
設置目的	検討状況に関する情報の地域住民への提供を行うとともに、地域住民の安全・安心の確保等について協議。
委員構成	近隣連合自治会長・自治会長（7名） その他地域住民等（公募委員）（5名） 学識経験者・専門家（7名） 行政（長崎県医療政策課長・長崎市地域保健課長）（2名） 長崎大学（長崎大学副学長ほか）（7名）

イ 直近の開催状況

回数	日時	主な議題
第33回	令和2年12月18日（金） 17時30分～19時30分	① 報告事項について ② 委員からの質問・意見への回答について ③ 安全管理に関する検討状況について
第34回	令和3年2月12日（金） 17時30分～19時30分	① 報告事項について ② 委員からの質問・意見への回答について ③ 安全管理に関する検討状況について ④ 令和3年度長崎大学における感染症研究拠点整備に関する地域連絡協議会委員の選任について

ウ 主な意見等

【第33回】

長崎大学より建設工事の進捗状況、安全管理に関する検討状況などについて説明がなされた。

- 躯体工事が完了し、外装工事と各階の内装工事を進めている。

- 陽圧防護服の取扱いやスーツトレーニング室での実技実習など原則 40 回以上 100 時間以上の訓練を行った後、試験に合格した者のみが実験室の利用者として承認されることになる。
- BSL-4 実験室において最も懸念される事項はヒューマンエラーによる事故である。その対策として、教育訓練に加えて、人物審査、健康状態の確認など適格性を認証する仕組みが重要であると考えており、規則等に違反した場合は利用できないようにすることなどを規則等に明記する。
- 実験内容の地域への伝達については、実施した実験に問題がなかったことを協議会で報告するような体制づくりを検討している。

委員からの質問・意見も含め、主な質疑は次のとおり。

質問・意見	<p>① 地域連絡協議会での議論等をまとめた「BSL-4 Report」を周辺の 6 自治会 3,500 世帯へ配布したと聞いているが、自分の自宅へは届いていない。近隣住民の理解と協力を得るためには確実な配布が重要なので、配布方法を検討してほしい。</p> <p>② 実験室を使用する者の行動に漏れがないか住民が確認できるようにチェックリストを作成し、「見える化」してほしい。</p> <p>③ 地域への伝達については、何か問題があった時にどうやって報告し、対処していくかということが必要である。</p> <p>④ BSL-4 施設の研究者を公募しているのはなぜか。施設稼働までに何人ぐらいの研究者を集める予定なのか。</p>
回答	<p>① 「BSL-4 Report」は住民の理解促進のためにも重要な配布物と考えているため、より精度の高い配布方法を目指したい。どこに配布できているかがわかるように配布業者には配布マップを提出させるように調整を行っている。</p> <p>② チェックリストを活用し、忠実に実行することで事故等の防止につながるため、今後、チェックリストを作成するとともに、チェック項目にきちんと対応できるように教育訓練を行う。</p> <p>③ 間違いを起こすことがあってはいけないことだが、間違いを起こした時の対応がとても大事になるので、地域への伝達方法も含め今後よく検討したい。</p> <p>④ 長崎大学で教員を採用する場合、公平性を保つため、公募することが前提となっている。施設稼働までには必要なトレーニングを行った上で、12 名から 15 名程度の研究者を確保したいと考えている。</p>

(2) 今後のスケジュール等

実 施 日	内 容
令和3年3月17日(水)	第35回地域連絡協議会の開催

長崎大学では、地域連絡協議会の報告会、自治会・関係団体等への説明会、市民公開講座等を随時開催予定としている。現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、人を集めての報告会や説明会等の開催が困難な状況となっているが、最近では、昨年12月19日にオンライン参加を可能とした市民公開講座を開催している。

さらに、地域連絡協議会の報告等については、議論の内容等をまとめた「BSL-4 Report」を発行し、近隣にお住まいの方にポスティングする他、新たに「NプラスBSL-4」という紹介パンフレットを発行することで市民の理解促進に努めている。